

# 東京都中小企業の景況

業況：2ポイント増加し、わずかながら連続の改善（平成19年12月調査）

産業労働局 商工部

見通し：大きく悪化し、52ヶ月ぶりの低水準

## 《11月の景況》

11月の都内中小企業の業況DI（業況が「良い」とした企業割合 - 「悪い」とした企業割合）は前月に比べ2ポイント増加の31となり、わずかながら連続の改善となった。また、前年同月比売上高DIも前月比3ポイント増加の31と、連続の改善である。ただ、当月と比べた今後3ヶ月間（12～2月）の業況見通しDI（24）は、前月比5ポイント減少と大きく悪化した。値としては52ヶ月ぶりの低水準となる。

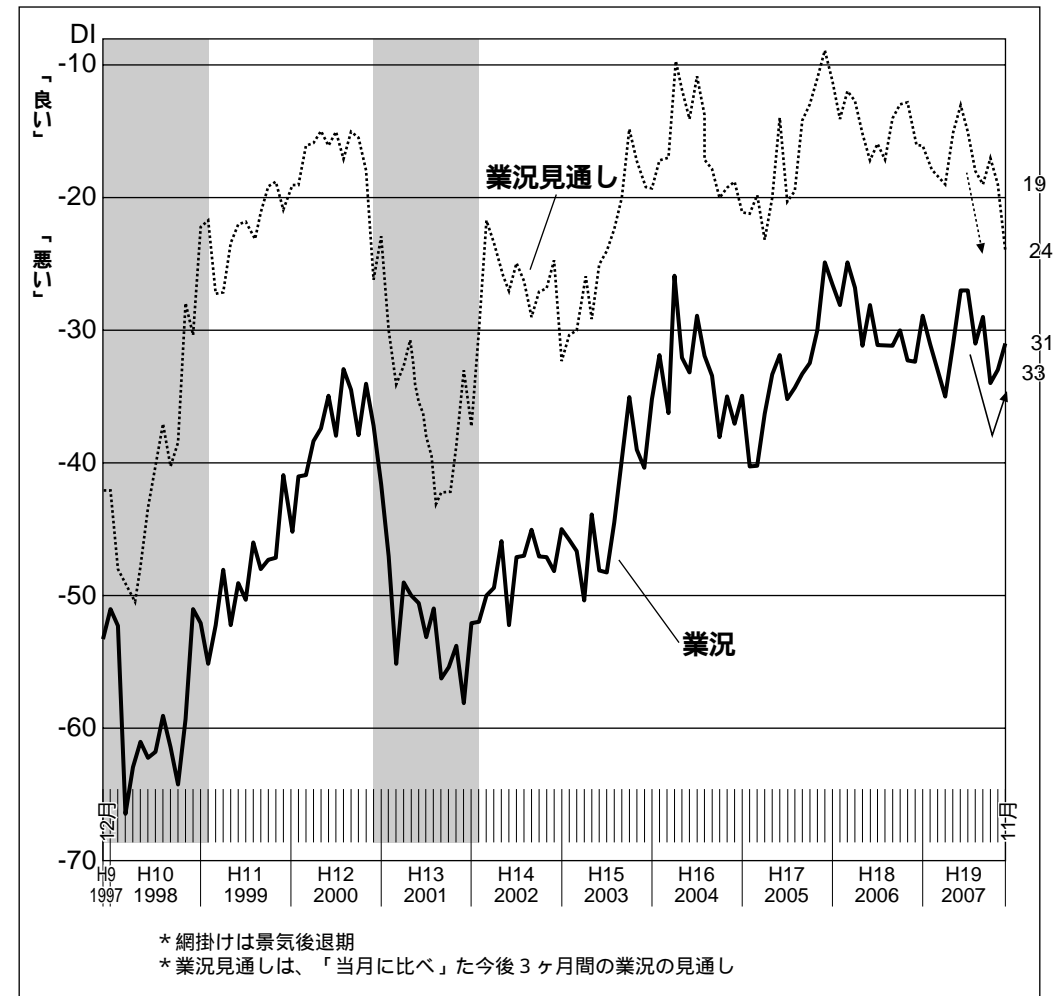
業況DIを業種別にみると、小売業は前月比5ポイント増加の47と5ヶ月ぶりに50を上回った。また卸売業は2ポイント増加の36と5ヶ月ぶりの改善、サービス業は2ポイント増加の20となった。製造業のみ1ポイント減少して25であった。製造・卸・小売の3業種では、11月後半の気温低下等もあり「衣料・身の回り品」はすべて改善、反対に食品値上げの影響か「食料品」（製造業は「その他」に含まれる）はすべて悪化した。なお、前月比仕入価格DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合 - 「低下」とした企業割合）をみると、製造業は前月比1ポイント増の+32と高止まりが続き、引き続き原材料仕入単価の上昇に見舞われている。

前年同月比売上高DIを業種別にみると、サービス業は前月比5ポイント増加の23と、連続して大きく改善した。卸売業は4ポイント増加の33と3ヶ月ぶりの改善となった。小売業は3ポイント増加の47で4ヶ月連続の改善、製造業は1ポイント増加の23と、4業種すべてで改善がみられた。

当月と比べた今後3ヶ月間（12～2月）の業況見通しDIを業種別にみると、製造業（22）は前月比7ポイント減少と、連続して大幅に悪化した。また卸売業（23）も7ポイント減少と悪化、小売業（34）も7ポイント減少と悪化に転じた。製造・卸・小売業とも「食料品」（製造業は「その他」に含まれる）の悪化幅が最も大きく、厳しさが続く見込みである。サービス業（18）のみ1ポイント増加している。

## 業況DI・業況見通しDI(全体)

(季節調整済DI)

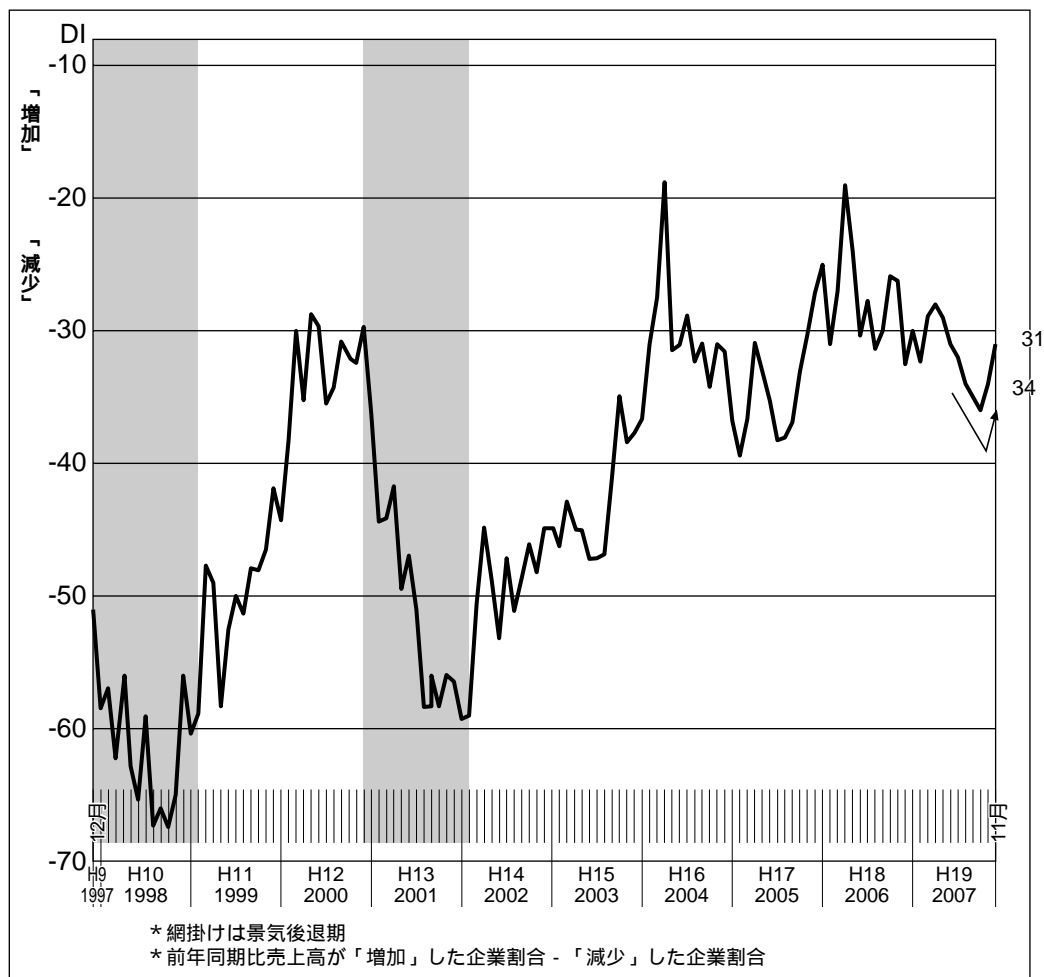


DI (Diffusion Index : 景況判断指数) 指数 (%) の算出方法は次のとおりである。  

$$DI = \frac{X - Z}{X + Y + Z} \times 100$$
 X : 「良い」「増加」「上昇」等の回答企業数  
 Y : 「普通」「ほぼ同様」等の回答企業数  
 Z : 「悪い」「減少」「低下」等の回答企業数  
 従って、DIのプラスは景況の好転（売上の増加等）、マイナスは景況の悪化（売上の減少等）を表している。

登録番号(18) 233

# 前年同月比売上高DI(全体)



## 回答企業数

	対象数	回答数	回答率		対象数	回答数	回答率
全体	3,875社	1,280社	33.0%	小規模	1,034社	432社	41.8%
製造業	1,125社	379社	33.7%	中小規模	617社	279社	45.2%
卸売業	875社	316社	36.1%	中規模	700社	308社	44.0%
小売業	875社	299社	34.2%	大規模	544社	235社	43.2%
サービス業	1,000社	286社	28.6%	規模不明	980社	26社	2.7%

## 景況指数表(業種)

・指数値(%): DI = 「良い」・「増加」等企業割合 「悪い」・「減少」等企業割合

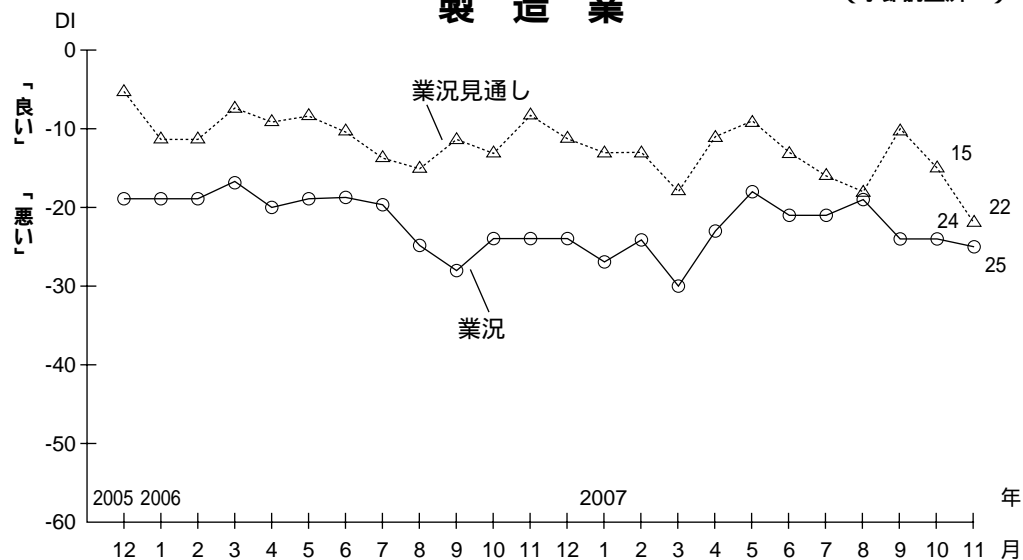
調査規模	調査対象 企業数	3,875	11月の景況					今後3ヶ月間の見通し			
			業 況	売(前 上月 比 高)	売(前 年同 月比 高)	仕(前 月 比 格)	販(前 月 比 格)	製品 商品 在庫	業(当 月 比 高)	売(当 上月 比 高)	売(前 年同 期 比 高)
全体			31	20	31	20	2	8	24	17	38
製造業			25	16	23	32	4	9	22	17	31
衣料・身の回り品			29	16	33	52	10	7	27	28	43
住宅・建物関連			18	17	27	21	7	19	32	19	36
紙・印刷			35	14	32	26	7	6	34	31	51
材料・部品			24	11	15	33	1	7	11	4	16
一般・精密機械等			15	21	14	18	2	7	18	16	26
電気機器			21	23	33	34	4	15	18	12	35
その他			53	18	26	74	3	7	46	28	21
卸売業			36	23	33	19	4	13	23	12	38
衣料・身の回り品			33	0	26	27	2	22	18	3	29
食料品			32	20	46	22	14	1	31	14	50
日用雑貨			47	29	38	14	3	22	27	22	40
建築・住宅関連			48	34	38	3	2	14	18	8	49
化学・金属材料			30	29	29	32	13	11	29	20	35
機械器具			21	13	22	21	1	9	14	6	23
小売業			47	27	47	6	1	3	34	28	51
衣料・身の回り品			44	21	49	9	20	12	27	17	47
食料品			49	29	52	8	2	3	40	38	59
日用雑貨			57	28	51	24	14	0	43	28	51
耐久消費財			34	29	33	7	6	4	19	21	40
余暇関連			46	32	40	3	1	3	31	32	52
サービス業			20	17	23	-	9	-	18	14	33
企業関連サービス			18	18	17	-	10	-	13	10	28
個人関連サービス			23	14	34	-	7	-	29	22	43

- (注) 1. 調査項目: 業況(良い・普通・悪い)、売上高(増加・ほぼ同様・減少)、仕入価格・販売価格(上昇・ほぼ同様・低下)、製品商品在庫(過大・適正・不足)  
2. 売上高: 製造業は生産額。  
3. 販売価格: サービス業は料金単価。

# 業況DI・業況見通しDI(業種別)

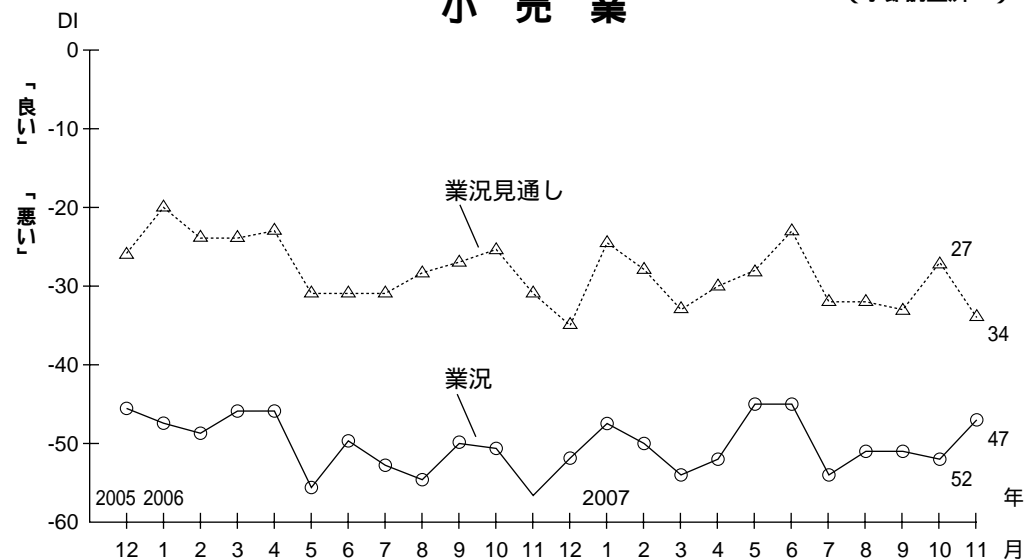
## 製造業

(季節調整済DI)



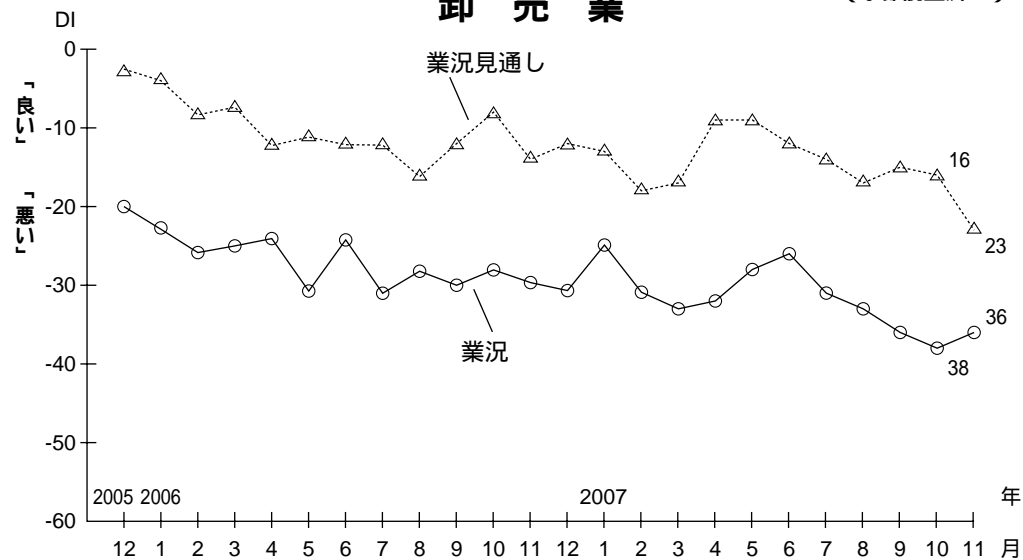
## 小売業

(季節調整済DI)



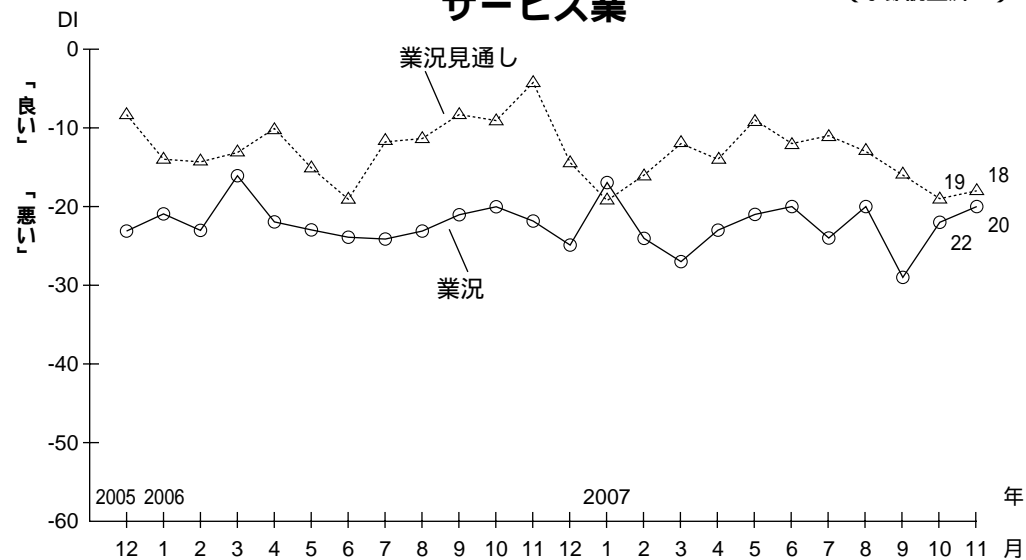
## 卸売業

(季節調整済DI)



## サービス業

(季節調整済DI)



# 業況DI・業況見通しDI(細分類)

製造業			業況					
対象数	回答数	回答率	11月		今後3ヶ月間見通し(当月比)			
1,125	379	33.7%	悪い	良い	悪い	良い		
			-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. ニット製外衣							
	2. 染色整理							
	3. 婦人・子供服							
	4. シャツ・下着							
	5. 製 靴							
	6. かばん・袋物							
	7. 貴金属製品							
	8. 装身具							
住宅建物	9. 家具							
	10. 建 具							
	11. 刃物・金物							
	12. 建設用金属製品							
紙・印刷	13. 紙 製 品							
	14. 紙 製 容 器							
	15. 印 刷							
	16. 特 殊 印 刷							
	17. 製 版 本							
材 料	18. 製革(なめし革)							
	19. プラスチック・ガラス							
	20. 工業用ゴム・セメント							
	21. 鉄鋼・非鉄金属							
	22. 製 缶・板 金							
	23. 金 属 プ レ ス							
	24. 金 属 塗 装							
	25. 電 気 め っ き							
	26. ボルト・ナット・ねじ							
	27. ば ね							
	28. 金 属 加 工 機 械							
	29. 一 般 機 械							
	30. 半 導 体 製 造 装 置							
	31. 油 圧・空 圧 機 器							
	32. 金 型							
	33. 自 動 車 部 品							
	34. 計 量 器・試 験 機							
	35. 医 療 用 機 械 器 具							
	36. 光 学 機 械 器 具							
電 気 機 器	37. 配 電 盤							
	38. 電 気 照 明 器 具							
	39. 電 子・通 信 機 器							
	40. 電 子 計 測 器							
	41. 電 子 部 品・デ バ イ ス							
そ の 他	42. パ ン・菓 子							
	43. そ の 他 の 食 料 品							
	44. 玩 具							

卸売業			業況					
対象数	回答数	回答率	11月		今後3ヶ月間見通し(当月比)			
875	316	36.1%	悪い	良い	悪い	良い		
			-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 男子衣料							
	2. 婦人・子供服							
	3. くつ							
	4. かばん・袋物							
	5. 装身具							
	6. 青果・果実							
食 料 品	7. 食 肉							
	8. 生 鮮 魚 介							
	9. 酒 類							
	10. 茶・のり・乾物							
	11. パン・菓子							
日 用 雑 貨	12. 紙・紙製品							
	13. 家庭用品							
	14. 玩 具							
	15. 文 具・事 務 機							
	16. 医 薬 品							
	17. 化 粧 品							
建 築 住 宅 関 連	18. 木 材							
	19. セメント・板ガラス							
	20. 管 工 機 材							
	21. 家 具							
	22. 室 内 装 飾 品							
	23. 電 設 資 材							
化 学・金 属 材 料	24. 塗 料							
	25. 工 業 用 薬 品							
	26. ガ ラ ス 製 品							
	27. ゴム・プラスチック							
	28. 鉄鋼・非鉄金属							
	29. ボルト・ナット・ねじ							
	30. 金 属 加 工 機 械 器 具							
機 械 器 具	31. 事 務 用 機 械 器 具							
	32. 機 械 工 具							
	33. 自 動 車 部 品							
	34. 医 療 用 機 器							
	35. 電 気 機 械 器 具							

## このグラフのみかた

各項目とも0を基準に左右のグラフの長さで業況の「良い」・「悪い」の程度を判断する。  
ただし 印は全回答が「普通」ないしは「ほぼ同様」、印は「良い」、「悪い」の回答数が同数を示す。

小売業			業況					
対象数	回答数	回答率	11月		今後3ヶ月間見通し(当月比)			
875	299	34.2%	悪い	良い	悪い	良い		
			-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 寝 具							
	2. 男子衣料							
	3. 婦人・子供服							
	4. 洋品雑貨							
	5. く つ							
	6. かばん・袋物							
	7. 中 古							
	8. メガネ・時計							
	9. 貴金属・宝石							
食 料 品	10. 食品スーパー							
	11. コンビニエンスストア							
	12. 青果・果実							
	13. 食 肉							
	14. 鮮 魚							
	15. 弁当・惣菜							
	16. 茶・のり・乾物							
	17. 酒 類							
	18. 米 穀							
	19. パン・菓子							
日 用 雑 貨	20. 家庭用品							
	21. 医 薬 品							
	22. 化 粧 品							
	23. 文 具・事 務 機							
	24. ガソリンスタンド							
	25. ディスカウントストア							
耐 久 消 費 財	26. 家具・インテリア							
	27. 家 電 製 品							
	28. 自 転 車							
	29. 中 古 車							
余 暇 関 連	30. ペットショップ							
	31. 書籍・雑誌							
	32. スポーツ用品							
	33. 玩 具							
	34. C D・楽 器							
	35. 生 花・園 芸							

サービス業			業況					
対象数	回答数	回答率	11月		今後3ヶ月間見通し(当月比)			
1,000	286	28.6%	悪い	良い	悪い	良い		
			-100	0	100	-100	0	100
企 業 関 連	1. 機 械 修 理 業							
	2. 映画・ビデオ制作業							
	3. 有線放送業							
	4. ソフトウェア業							
	5. 情報処理サービス業							
	6. 情報提供サービス業							
	7. 広 告 業							
	8. 建物サービス業							
	9. 民営職業紹介業							
	10. 労働者派遣業							
	11. 警 備 業							
連 帯	12. ディスプレイ業							
	13. 土木建築サービス業							
	14. 産業廃棄物処理業							
サ イ ト	15. デザイン業							
	16. 駐 車 場 業							
	17. 道路貨物運送業							
	18. 倉 庫 業							
	19. 運輸附帯サービス業							
	20. 産業用機器賃貸業							
	21. 事務用機器賃貸業							
	22. 専門サービス業							
	23. 医療附帯サービス業							
ス	24. 計量証明業							
	25. リネンサプライ業							
	26. 機 械 設 計 業							
	27. 非破壊検査業							
個 人 関 連	28. 出 版 業							
	29. 各種物品賃貸業							
	30. クリーニング業							
	31. 理 容 業							
	32. 美 容 業							
	33. 飲 食 店							
	34. 自動車整備業							
	35. 旅 館 業							
	36. 旅 行 業							
	37. スポーツ施設提供業							
	38. 遊 戯 場 業							
	39. 冠 婚 葬 祭 業							
	40. 不動産関連業							

## 《規模別景況》

11月の業況DIを規模別にみると、「小規模」は前月比3ポイント増加の43と前月までの悪化から戻した。「中規模」は2ポイント増加の23と連続の改善となった。「大規模」は2ポイント減少の15と再び悪化した。「中小規模」は1ポイント減少の38となった。

前年同月比売上高DIを規模別にみると、「小規模」は前月比7ポイント増加の44と、前月の悪化分を戻した。また「中規模」は4ポイント増加の24と連続の改善である。「中小規模」は3ポイント減少の39と再び悪化に転じた。「大規模」は1ポイント減少ながら6と大幅改善した前月水準をほぼ維持した。

当月と比べた今後3ヶ月間(12~2月)の業況見通しDIを規模別にみると、「大規模」(12)は前月比12ポイントと大幅に減少し、再び悪化に転じた。「中規模」(21)は4ポイント減少、「中小規模」(21)も4ポイント減少、「小規模」(34)は3ポイント減少と4業種すべてで悪化した。

## 景況指数表 (規模)

・指数値(%): DI = 「良い」・「増加」等企業割合 「悪い」・「減少」等企業割合

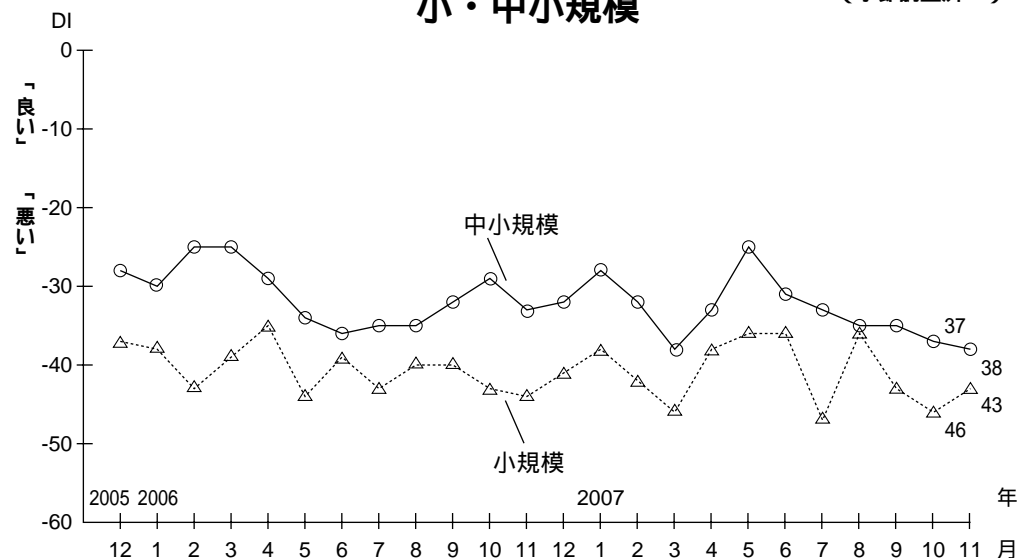
調査規模	調査対象企業数	11月の景況						今後3ヶ月間の見通し		
	回答企業数	業況	売上前月比	売上前年同月比	仕入前月比	販売前月比	製品商品在庫	業況	売上前月比	売上前年同期比
	3,875									
	1,280									
	33.0%									
全体		31	20	31	20	2	8	24	17	38
規模	小規模	43	27	44	18	4	3	34	27	54
	中小規模	38	26	39	21	2	9	21	18	39
	中規模	23	13	24	21	2	12	21	12	28
	大規模	15	10	6	24	0	13	12	6	16

(注) 規模 : 小規模 製造業、卸売業、サービス業(1~9人)、小売業(1~2人)  
 : 中小規模 製造業、卸売業、サービス業(10~19人)、小売業(3~4人)  
 : 中規模 製造業、卸売業、サービス業(20~49人)、小売業(5~19人)  
 : 大規模 製造業、卸売業、サービス業(50人以上)、小売業(20人以上)

## 業況DI (規模別)

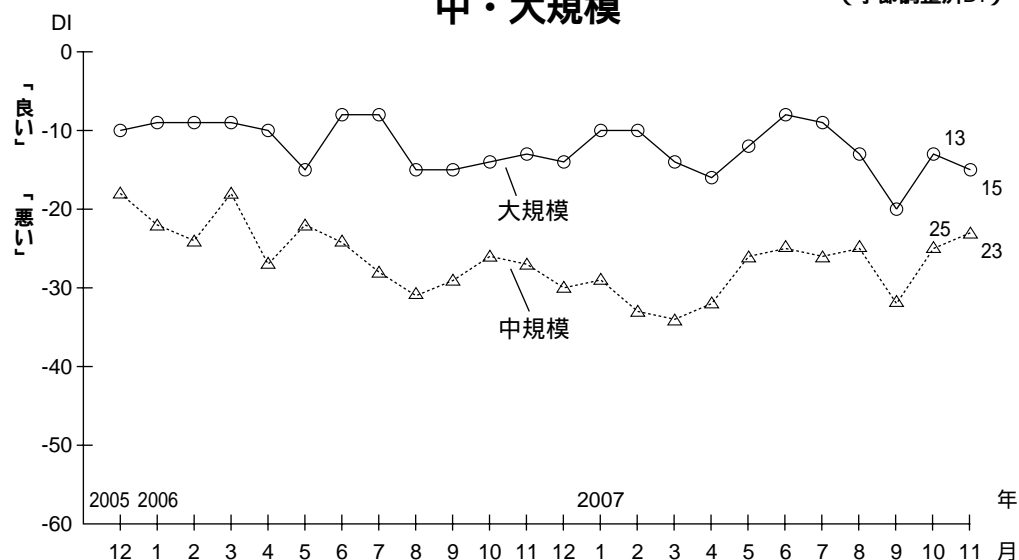
### 小・中小規模

(季節調整済DI)



### 中・大規模

(季節調整済DI)



## 【自由意見記入欄の内容】

景況調査票の自由意見欄に348社、延べ542件の貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。分類項目ごとの意見数は以下のとおりです。今回の特徴としては「原材料・仕入れ価格の高騰に苦慮」「景気の先行き不透明」「建築確認の厳格化による影響」「人材の確保が困難」等のご意見が目立ちました。

(複数回答)

分類項目	意見数
原材料・仕入れ価格	109
経済・景気動向	107
業界や地域の動向	95
売上・収益	77
人材の確保・育成	51
顧客・得意先	45
金融・資金繰り	26
海外・国際化	13
その他	19
合計	542

以下に、それぞれの項目の特徴的なご意見について掲載させていただきます。なお、書き換えや一部省略など、多少の加筆・修正を加えさせていただきました。

### ①原材料・仕入れ価格について

状況の悪い上に、過去最高といわれる材料高(貴金属)の為に在庫補充が出来ない。高値でも安定なら良いが、反落した時の痛手はカバーしきれない。新作品の開発も企画も立たない。(貴金属製品製造業)

大手の原材料メーカーから強引に値上げをされた。一方、得意先からは強方に値下げを求められ、利益が大幅に減少した。(特殊印刷業)

原材料価格の高値定着に対し、売価の価格改正が未だ充分でないのが問題である。大手ユーザーの理解度が足りない。(鉄鋼・非鉄金属製造業)

プレス用ステンレス材料の値上が止まらない。レアメタルの価格上昇、原油高など難問山積で見通し暗い。(金属プレス製造業)

12月から仕入れ価格が軒並値上りする旨、問屋から通知された。現在も食用油が30%~40%アップした。小麦粉、海産物、麺類等の値上げがめじろ押し。消費者に売りにくい状態が続きそうだ。(食品スーパー業)

石油関連の販売は原油の高騰により毎月のように値上りしており、非常に厳しい状況にあります。弊社のような零細企業は特に影響が大きく、厳しい状況にあります。(ガソリンスタンド業)

軽油が大幅に上昇しているが、運送単価は変わらず、今後徐々に経営面を圧迫してくるものと予想している。ガソリン税等の税制も考慮していただきたい。(貨物運送業)

当社は重油を使用し洗濯業務をしております。原油の値上りにより、昨年と同じ使用量で、支払が2.3倍となっており、大変苦しい状況となっています。得意先の関係もあり価格を上げる事もできずにいます。(リネンサプライ業)

### ②経済・景気動向について

消費の実態は低下していると感じているが、寒さがきてようやく商品が動き出したようだ。(ニット製造業)

景況感は上向きになったが、未だ損益分岐点売上高には届かず。販路の検討によって苦境からの脱出を試みる。(カバン・袋物製造業)

前半は景気回復の希望が持てたのですが、再び悪化の感あり。いずれにしても費用対効果を考え、慎重に進めることが必要。(鉄鋼・非鉄金属製造業)

消費者心理を冷え込ますような実質増税の動きや老後の生活の見通しが不安定な状況では、個人消費はまだまだ冷え込んでいくと思う。個人消費が上向き施策を期待したい。(家具卸売業)

今後も原材料価格等の上昇が続くことが予想されますが、価格転嫁が余りできておりません。業種によっては厳しい価格競争があるため明るい見通しが立たない状況です。「景気回復」が実感できません。(ガラス製品卸売業) バブル期以降、全く向上かず。毎年11月~2月は特にひどいです。一部の大企業の活況は、一般商店や小企業にとっては外国の話かと思えます。

(ペットショップ業)

理容業界は夏前から悪いと問屋が話していたが、10月以降、表面化してきた。他業種でも同様の声をきく。初心にかえり、新たな経営努力を開始する予定。新規投資もする。新しい時代の流れに対応するために。(理容業) 街の景気は悪い悪いと言われながらも少しずつではあるが、良くなってきているようである。末端の景気は時間がかかると言われているが、その通りであり、これからは少しずつであるが良くなると期待している。(自動車整備業)

### ③業界や地域の動向について

中国の製造原価が上がってきたので、国内に生産が戻ってくるのではないかとされていますが、なかなか実感がありません。当社が所属している工業組合でも毎年会員数が減っています。(ニット製造業)

地域企業がどんどん無くなって、産地としての役割が果たせなくなっている。(シャツ・下着製造業)

今年は上下の波の変化が激しく、前年対比は少し落ちると思う。その上、原材料の値上げを売値に加えられず困っている。他方、外国ブランド店の続々の出店で業界のシェアはどんどん食われている。(カバン・袋物製造業) 耐震偽装の問題で審査に時間がかかり物件が動いておりません。建築金物の業界の動きがかなり悪いのを実感しています。原油高騰のあおりで、塗料の価格も年初から値上げを数回くり返しております。(金属塗装製造業) 産地の疲弊は見るかげも無い状態です。食品だけでなく、地産地消の推進やメイドインジャパンの素晴らしさをPRして欲しい。(婦人・子供服卸売業) お客は主に左官屋・建設関係ですが、建築確認厳格化の影響、工法の変化等により、売上の減少が続いている。(セメント・板ガラス卸売業)

我々の商店街ではシャッターの閉まっている店が増えています。仕入面では問屋の倒産・廃業が続いて、商品の仕入にも影響が出て、非常に厳しい状態です。(寝具小売業)

パン屋を60年近くやっていますが、コンビニの増加、喫茶店の昼間の弁当提供など競合が激しい状況です。他店にない差別化の商品を提供していますので、悪いながらもなんとか店を続けております。(パン・菓子小売業)

### ④売上・収益について

ここ2~3年収益が落ち込んでいたが、質の向上を図り、改善に改善を重ねた結果、良い方向になりつつある。(一般機械製造業)

すぐ近くに家電量販店がオープンしました。影響はすぐに現れ、出店以後、カラーTV・冷蔵庫・洗濯機等まだ1台も売れていません。今後どうなることやら... (家電小売業)

駅前再開発で大型店中心の商業施設がオープンし、消費者の流れが一変しました。当業界も価格競争が激しくなり、利益を度外視した価格で生き残りを掛けている小売店も出てきて苦境に立っています。(自転車小売業) 衣料品の売れ筋にかなりの格差があり、ジャケットやコート等の価格が一般の商店街で売れる値段とデパートで売れる上代とで倍以上の違いがあります。当社のように商店街の小売店ですと、単価が低いいため売上を伸ばすのが大変むずかしく困っています。(婦人・子供服小売業)

お客様の大きな変化と御用聞きにより、店の品揃えが変わりました。骨のある魚を嫌うため、切身・刺身が売上の50%になりました。高級品の売上が少々入るようになりました。(鮮魚小売業)

### ⑤人材の確保・育成について

新規卒者の採用状況ですが、平成18年から徐々に厳しくなり、平成20年卒の学生は今のところ1人も決まっています。少子化の影響か業種間格差の問題か分かりません。(管工機材卸売業)

売上拡大の為、会社発展の為に人材の確保が必須だが、求人が非常に厳しい。今後は地方や外国人も対象に求人活動をしていく必要も出てきている。

(ソフトウェア業)

時間もお金もかかるので、人材の育成が今いちばんの課題です。業界自体に人材の流入がなく、仕事にかかわる人の高齢化も進行中です。当社は比較的若年齢層の人員で業務をしているため、現在は好景気ですが、将来的には不透明であります。

(建物サービス業)

介護サービスの求人が2.25倍となり、人手不足により、介護サービスの提供に制約が生じる恐れがあります。今後必要度を確認してサービスの内容を考える必要があります。

(医療付帯サービス業)

## ⑥顧客・得意先について

得意先が海外生産をしているので、受注が年々減少している。利益の確保と新しい得意先の開拓と技術の向上に力を入れないと生き残れない。

(特殊印刷業)

最近注文をいただき納期を決めても図面を出さない得意先がいて困っています。揚げ句のはてに、一度決めた価格まで値切ってきます。業界でも支払慣行を変えるよう運動していますがまだまだです。

(金型製造業)

多少ではありますが、お客様の購買意欲が上っている感があります。ご自分の気に入った商品であれば、お買上げいただけるようです。色々と商品を吟味してお客様に提供することが一番の課題となります。(かばん・袋物小売業)  
パソコンの普及によって、顧客の殆どが直接交通機関、宿泊施設、観光関係に申し込むことが多くなって売上の低下に拍車をかけている。その傾向は今以上に増加することが予想され、苦境に立たされている。(旅行業)

## ⑦金融・資金繰りについて

バブル期の借入返済が続き、新規借入ゼロに近い状態です。経費の削減も目いっぱいです。収支トントンにするのが精一杯で返済原資は0。(酒類卸売業)

銀行融資は本年度より10年ぶりにプロパーの短期が復活。数字等は細くなったが、資金繰りは苦しいながらも回るようになった。

(弁当・惣菜小売業)

店舗改装しましたが、借入れの厳しさを実感。以前ですと簡単な書類で借入れができたのですが、システムが変わったからと手続きが非常に面倒になり、金融機関の身勝手さを目一杯感じた。

(メガネ・時計小売業)

保証協会の保証が8割となり金融機関の対応が心配です。調達が今後厳しくなるのではないかと心配しています。

(事務機器賃貸業)

## ⑧海外・国際化について

欧州ブランドに高級市場をとられ、中国製に価格を押し戻されてきた。ユーロの高騰で欧州ブランドの値上がり、中国の賃金up、安全性の低下も加わり、上級も下級も消費者の不信が多い。高品質の日本製の出番がきた。

(カバン・袋物製造業)

原料の豚原皮の輸出は好調なのですが、台湾などからその原皮で製造された製品が逆輸入され安く売られている為、製品安と需要減で苦しい状況です。

(製靴製造業)

中国から仕事が戻ってきた。賃金が上がったためと思うが、採算的に合わないものが多い。

(電気メッキ製造業)

## ⑨その他

他社に負けぬ商品開発と取引先との信用、信頼関係の継続こそが、小規模業者の生き残りの道と心掛けている。

(装身具製造業)

預貯金を取り崩し、借入れ無しで経営してきたが、もう限界なので、年末で廃業宣言。社員たちも65~70歳以上なので納得。(婦人・子供服製造業)  
入念な作業を必要とする多品種少量生産のため回転が遅く、材料費や工賃は上がる一方で、資金的にはいつも苦しい。いずれあまりしたくない決断をしなければならなくなるのではと思っています。(かばん・袋物製造業)